

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

## CONTENTS

巻頭特集

貧困とひとり親家庭  
経済面と精神面、4つの柱で自立後押し（2・3面）

- 燕市と3社会福祉法人が災害時福祉避難所設置協定結ぶ
- 日常生活自立支援事業の26年度利用実績まとまる
- 「Dr. ヤマゴンの健やか通信」——その八
- 連載・これからの「介護福祉」を考える
- 初めての「福祉業界就活さぽーとセミナー」開催

6月号

2015

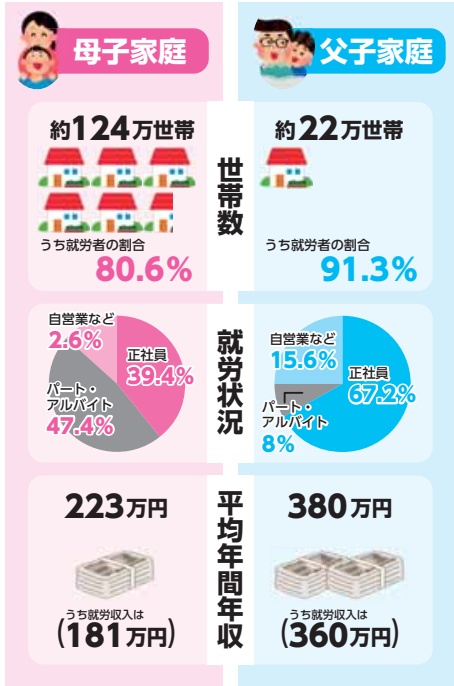
第754号



村山 陽「紫陽花の季節」（一水会委員・上越市在住）

# 経済面と精神面、4つの柱で自立後押し

## 母子家庭・父子家庭の現状



【現状】厚労省による平成23年度の「全国母子世帯等調査」によると、母子世帯は推計で123万8千世帯。ひとり親世帯になった理由の80・6%が離婚によるもので、死別は7・5%でした。

80・6%の方が仕事を持っているが、その半数近くがパートやアルバイトなどの、いわゆる非正規雇用で派遣社員を加えると52・1%にもなります。

平均年間収入は223万円（内181万円が就労収入）。22万世帯余の父子家庭が380万円（就労収入は360万円）の収入を得ている。

## 母子家庭の収入は一般家庭の3分の1

子どもの貧困が問題になっています。厚生労働省の調査によると、24年度の子どもの貧困率は16・3%、母子家庭など大人が一人の世帯は50%を超えています。こうした状況に対処するため、国や自治体はさまざまな制度を活用して支援していますが、現実には厳しい

ものがあります。母子家庭を中心に、ひとり親世帯の現状と、「新潟県・新潟市ひとり親家庭等就業・自立支援センター」（一般社団法人新潟県母子寡婦福祉連合会内II新潟市中央区上所2、新潟ユニゾンプラザ3階）の活動を紹介します。

## 「働けば働くほど減額」される児童扶養手当

るのに比べ各段に少なく、一般家庭の3分の1程度しかない。

いといます。

【対策】これに対し厚労省は、「子育て生活支援」、「就業支援」、「養育費確保支援」、「経済的支援」の4つの柱を立てて支援しています。最近ではひとり親の「学び直し」を重視する施策や、民間資金を活用する「子どもの貧困対策基金」新設を打ち出してもいます。

新潟県や20市も国の方針の元でさまざまな支援事業に取り組んでいます。現実には依然厳しいものがあります。

例えば平成15年度に創設された「高等職業訓練促進給付金」という事業があります。就職に有利な資格を取ろうとする親を後押しするものです。看護師、准看護師、保育士、介護福祉士、理学療法士

など2年以上勉強する必要がある資格が対象になり、県知事が地域の実情に応じて定めることになっています。

受講者には、月10万円（住民税課税世帯は7万500円）が支給されます。しかし、支給期間は2年に限定されており、3年以上学ぶ必要がある場合、自己負担になります。また、近くに学校などなければ通うのが難しく、何より20市の中には制度そのものがない市もあります。

また、精神的、経済的に不安定な状況に置かれることで学習・進学意欲が低下する恐れのある子どもを支援する「学習支援ボランティア事業」があります。十分な

教育が受けられないと、将来不利益を被りかねません。そこで、大学生などを活用して子どもの学習を支援しようというものです。県内でも昨年、柏崎市の母子会がボランティアで実施しましたが、ボランティア故の難しさもあり、市に対し事業化を求めています。

経済的支援として、児童扶養手当があります。1人目は4万2千円支給されますが、次の子は5千円、3人目は3千円と減っていきます。子どもが増えるほど恩恵は

## 「子どもとの時間」求め「非正規」選ぶ人も

【支援センター】主に生活や就業の相談に乗ったり仕事を紹介するなどの活動をしています。

事業主を訪問して新たな就職先を開拓する努力を重ねています。平成16年から今年3月までの相談件数は、延べ8,579件になります。この内1,872人が新規登録して仕事を探しました。子どもとの関わりが大切な30代、40代が大半を占めています。

希望職種は、事務職が最も多く47%を占め、9割以上の人が10万円以上の月収を望み、その中でも14万円以上を希望する人が多くなっています。

新規登録者の内訳 (累計)

年齢構成	項目	26年度	H16～H26年度累計	構成比
20歳代	20	355	19	
30歳代	59	756	40	
40歳超	70	761	41	
計	149人	1872	100%	

希望職種	項目	26年度	H16～H26年度累計	構成比
専門技術職	37	248	13	
事務的職業	53	888	47	
販売	12	143	8	
サービス	13	232	12	
製造業・他	34	361	19	
計	149人	1872	100%	

希望月収	項目	26年度	H16～H26年度累計	構成比
7～9万	10	145	8	
10～11万	21	330	18	
12～13万	16	285	15	
14～15万	57	582	31	
16万以上	45	530	28	
計	149人	1872	100%	

就業の有無	項目	26年度	H16～H26年度累計	構成比
就業者	41	667	36	
就業無	108	1205	64	
計	149人	1872	100%	

※新潟県／新潟市ひとり親家庭等就業・自立支援センター

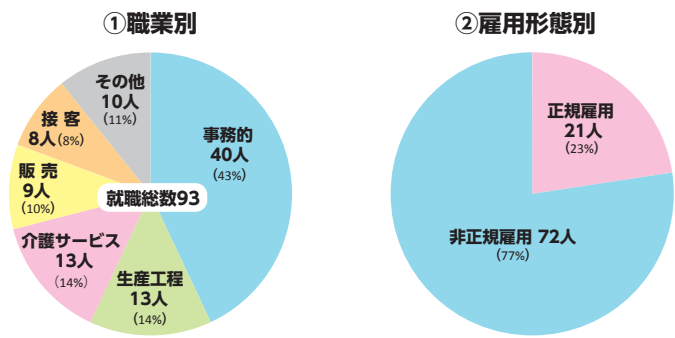
26年度は93人が就職、そのうち40人が事務職でした。雇用形態は

しなない理由としては、「相手に支払う能力がないと思った」48.6%

「生活できない。手当額を見直して」「働けば働くほど手当が減る。所得制限設定額を上げてほしい」「実家に同居すると親の収入も対象となる」「18歳で支給が打ち切られるため」学生の間は支給してほしいなど制度の矛盾の解消を求める声もあります。

厚労省調査(23年度)によると、養育費の取り決めをしている母子家庭はわずか37.7% (前回18年度は38.8%)です。取り決めを

平成26年度就職状況



が最も多く、「相手と関わりたくない」23.1%が続いています。「養育費を請求できると思わなかった」「子どもをひきとった方が負担すると思っていた」などの回答もあり、制度が知られていないことが浮き彫りになりました。

「現在も養育費を受けている」のは19.7%で、平均月額は4万3,482円です。しかし、ひとり親になってからの年数の短い方が「現在も受けている」割合が高く、年を経るに連れ、支払いが滞ってくることを如実に示して

ひとり親家庭を支える制度はさまざまあります。また、相談者には個々それぞれの事情があります。相談者の自立を実現するには、どの制度をどう組み合わせるのかがいいのかが、支援センターは、より多くの情報を提供することによって、応えることにしています。

支援センターでは、こうした状況を踏まえ、ひとり親家庭と、そのなるかもしれない方を対象に養育費相談を受け付けています。年度途中でスタートした19年度こそ少ないものの、以後毎年1500件前後の相談があり、累計では1,066件に上ります。

相談内容は、「養育費取得方法や金額」「滞る養育費の催促」「養育費の強制執行方法」など多岐に渡っています。

ひとり親家庭には、精神的な支援も欠かせません。県母子寡婦福祉連合会は、親同士の交流、情報交換や仲間作りを目的にした「くらし・子育て応援セミナー」を県内各地で開催しています。家事・育児の手助けをする日常生活支援事業も行っています。

# 要配慮者の安全・安心確保へ大きな一歩

## 燕市と3社福法人が福祉避難所設置協定結ぶ

燕地域にある3つの社会福祉法人「つばめ福祉会」「岡田健一理事長」、「吉田福祉会」(細貝好美理事長)、「桜井の里福祉会」(柏原雅史理事長)と燕市は、4月30日、要配慮者の安全・安心確保のため「災害時における福祉避難所の設置と運営に関する協定書」を締結しました。昨年春発足した

県災害福祉広域支援ネットワーク協議会が締結を呼び掛けていたもので、災害時の迅速で適切な対応に向けて大きな一歩を踏み出しました。

県災害ネット協では、県下全域に波及するよう今後さらに取り組みを強化する予定です。

同日の締結式では、関係者が見守る中、3社福法人の理事長と鈴木力・燕市長が協定書にサインしました。この席で鈴木市長は「これまで大きな災害はなかったが、いざというときの備えが大切。非常に心強い」と期待を語り、社福法人を代表して「つばめ福祉会」の岡田理事長は「3法人は数年前から協定を結び、ベッドを融通したり勉強会

を開いたりしてきた。一般市民にそのノウハウを使っていただけ」と締結を歓迎しました。

災害時には、福祉避難所の設置や要配慮者の受け入れ・移送、相談員やホームヘルパーなど福祉専門職の派遣などに速やかな対応が求められます。しかし、福祉避難所の設置などは、事前の協議や協定がなければ適切

な対応が取れなかったり遅れたりする恐れがあります。

しかも、県災害ネット協の調査によると、協定を締結している県内の市町村はわずか4割程度しかありません。そのため県災害ネット協と県は、協定締結を呼び掛けて、新発田市と燕市で相次いで「地域懇談会」

を開催しました。

行政や福祉団体がその責務や役割を共有し、具体的な体制づくりを行う方策などを重ねて話し合いました。新発田市は実を結びませんでした。燕市では行政と社福法人の強い意志もあって、協定締結にまで進みました。

## 伝えてください 「36°Cの言葉。」

日本福祉大学と朝日新聞社は、「わたしと福祉」をテーマとした第13回高校生福祉文化賞エッセイコンテストの作品を募集しています。「36°Cの言葉。」というキャッチフレーズには、高校生自身の体温が伝わる言葉で語ってほしいという思いが込められています。

4つの分野「人・家族とのふれあい」「わたしが暮らすまち」「日常のなかでつながる世界」「社会のなかの『どうして?』」の中から一つを選び、身近な体験を通して感じた「福祉への思い」を800字以内にとめて下さい。

応募締切は、7月31日(当日消印有効)。郵送(〒520-1102 滋賀県高島市野田1678、(株)TADコーポレーション「日本福祉大学高校生福祉文化賞」事務局)か、Eメール 15essay@ml.n-fukushi.ac.jp で送ってください。

## 第13回高校生福祉文化賞エッセイコンテスト募集



# 県民たすけあい基金助成事業紹介

## NPO法人 K H Jにいがた「秋桜の会」

理事長 三膳克弥

〒950-0167 新潟市江南区五月町1-2-9

電話 090-8873-4453

※KHJは「家族・ひきこもり・ジャパン」

### 親や家族を介して当事者サポート

当会は、唯一の全国組織である「NPO法人全国引きこもりKHJ親の会」の新潟支部です。全国に約50ある支部の17番目として平

成13年9月に開設しました。

「ひきこもり」への支援は、その特異性からいって相談機関へ当事者が直接訪れることは少なく、親や家族などの相談から始まりま

す。親や家族への支援の延長上に当事者との関わりがあることになり、当事者に繋がるまで長い時間がかかります。そのため、どうしても親や家族への支援が重要になります。

新潟県は南北に長いため、「秋桜の会」は、新潟本部の他、新発田、長岡、十日町、上越に支部を置き、支部毎に月例会を行っています。今年2月には、海を隔てた佐渡市民の強い要望を受けて、佐渡支部を立ち上げました。

新潟本部の活動は、隔月で講師を招き講演会を行い、他の月は勉強会、ピアカウンセリングを行っています。

支部では、県民たすけあい基金の助成を受けて、KHJ公認の助言者・ピアサポーターが訪問し、勉強会やピアカウンセリング活動を行っています。参加者数



は15〜25人位で、会場によつては4〜6人の時もありますが継続が大切だと考えています。

ピアカウンセリングは、同じ悩みを持つ者同士が出会い、お互いに励まし合いそして共感し、経験に基づいた話をするので安心して相談をすることができま

す。ピアカウンセリングを通じて、心が安らぎ、心強い勇気を貰うことで、間接的に当事者の社会参加を促しています。

ことですが、親のサポートも必要だと考えています。私たち親が行うアウトリーチと他の人が行うアウトリーチの違いは、親の気持ちの方が本音で話が出ることです。ひきこもりの当事者を支援する場所や支援者は多くいますが、親や家族を支援する場所や支援者は殆どいないと思います。親でなければ分からない苦労などがあり、他の支援者では親の気持ちは決して分からないのです。

ひきこもりの当事者が悩み、苦しんでいることは皆が理解していますが、それと同じか、それ以上に悩み、苦しんでいる親や家族がいることをどの位の人が知っているのでしょうか？ 親をサポートすることで親の気持ちが出ること、親がひきこもりの当事者に伝わり、天岩戸の神話に出てくるようになると思います。親は最大の支援者だと思いい、会の活動を行っています。



# 相談件数、利用者とも年々増加

日常生活自立支援事業 平成26年度の利用状況

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者や知的障害・精神障害のある方など、判断能力が十分ではない方々に対して、福祉サービスを利用する際の援助や日常的な金銭管理の援助等を行い、住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いする事業として平成11年10月にスタートしました。

県内では現在、基幹的な役割を担う8つ（4月から南魚沼市社協が新たに基幹的社協になった）の社会福祉協議会と新潟市社会福祉協議会が中心となり、各市町村社会福祉協議会

や関係機関と連携しながら事業を実施しています。

平成26年度の利用状況は、契約187件、解約173件で、平成27年3月末現在の実利用者数は1,052人となっております。

り、相談件数及び利用者数はともに増加傾向にあります。本会ではこれらに適切に対応するため、基幹的社協を拡充するなど実施体制の強化や関係機関との円滑な連携に向け取り組んでいます。

本事業についてのご相談やお問い合わせは、お近くの市町村社会福祉協議会までご連絡ください。

## 日常生活自立支援事業 県内市町村別実利用者数（平成27年3月末現在）

（単位：人）

社協名	実利用者
○新発田市	32
村上市	12
阿賀野市	2
胎内市	5
聖籠町	2
阿賀町	4
関川村	3
粟島浦村	2
計	62

社協名	実利用者
○三条市	37
加茂市	5
見附市	4
燕市	17
五泉市	8
弥彦村	3
田上町	4
計	78

社協名	実利用者
○魚沼市	66
小千谷市	13
南魚沼市	26
湯沢町	5
計	110

社協名	実利用者
○上越市	128
糸魚川市	7
妙高市	10
計	145

社協名	実利用者
○佐渡市	61
計	61

社協名	実利用者
○十日町市	53
津南町	7
計	60

社協名	実利用者
○長岡市	224
柏崎市	8
出雲崎町	3
刈羽村	3
計	238

社協名	実利用者
新潟市	298

（○は基幹的社協）	
合計	1,052

## 民間社会福祉施設職員28年度海外研修生を募集

中央競馬馬主社会福祉財団

中央競馬馬主社会福祉財団は、民間の社会福祉施設などに勤務する職員を対象にした平成28年度海外研修生を募集しています。外国施設での実習を通して専門的な知識、技能を修得し、福祉サービスの向上に資することを目的としています。

応募の締め切りは、7月31日（金）。職種や年齢、福祉施設での経験年数、英語能力などの募集要件があります。詳しくは、新潟県福祉保健部福祉保健課地域福祉係（電話025-1280-15176）に問い合わせるか、財団ホームページをご覧ください。

### <<夏の予定はお決まりですか？>>

#### ●まだまだ間に合います。海へ、山へ、夏休みの家族旅行●

★今年はハワイ？オーストラリア？夏休みの海外旅行ももちろんお任せください★  
???ちょっと待ってください。JTBの商品は旅行だけではありません???

#### ■夏の贈り物に今年はギフト券を贈ってみてはいかがでしょう■

▲JTBでは【旅行券・ギフト券・カタログギフト商品】を各種取り揃えております  
〜〜皆様の旅のこと・贈り物のこと、何でもお気軽にご相談ください〜〜

(株)JTB関東 法人営業新潟支店/新潟市中央区東万代町1-30 新潟第一生命戸田建設共同ビル3階  
電話：025-255-5101 FAX：025-248-7687

# 平成27年度 社会福祉関係職員研修実施計画表

※都合により日程等変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

区分	研修名	受講対象者	実施予定日・会場	予定定員(人)
新任職員研修	福祉施設新任職員研修	職務経験2年未満の施設新任職員	[第1回] 平成27年6月2日・3日《新潟ユニゾンプラザ》	120
			[第2回] 平成27年6月9日・10日《長岡市立劇場》	90
			[第3回] 平成27年6月16日・17日《新潟ユニゾンプラザ》	120
			[第4回] 平成27年6月23日・24日《新潟ユニゾンプラザ》	120
中堅職員研修	福祉施設中堅職員研修	職務経験3年以上で主任、係長の職に中堅職員	[第1回] 平成27年7月2日・3日《新潟ユニゾンプラザ》	120
			[第2回] 平成27年7月14日・15日《新潟ユニゾンプラザ》	120
			[第3回] 平成27年7月23日・24日《長岡市立劇場》	90
指導監督員研修	福祉施設指導的職員研修	主任、係長、事務長の役職にある職員	[第1回] 平成27年7月28日・29日《新潟ユニゾンプラザ》	50
			[第2回] 平成27年8月20日・21日《新潟ユニゾンプラザ》	50
キャリアパス対応 生涯研修課程	初任者コース	職務経験3年以下の新任職員	[第1回] 平成27年8月11日・12日《長岡市立劇場》	50
	中堅職員コース	職務経験概ね4年以上で主任、係長に就いていない中堅職員	[第2回] 平成27年8月26日・27日《新潟ユニゾンプラザ》	50
			[第1回] 平成27年9月7日・8日《新潟ユニゾンプラザ》	80
	チームリーダーコース	主任、係長に就いている職員又はそれに該当する指導的職員	[第2回] 平成27年10月14日・15日《長岡市立劇場》	80
運営管理者研修	管理者コース	施設長・事務局長等の役職にある職員、又はそれに該当する管理者	[第1回] 平成27年9月24日・25日《新潟ユニゾンプラザ》	80
			[第2回] 平成27年11月17日・18日《長岡市立劇場》	80
運営管理者研修	社会福祉施設運営管理者研修	理事長、施設長等の運営管理者	平成27年7月7日《新潟ユニゾンプラザ》	100
	社会福祉トップセミナー	会長・理事長、事務局長等施設経営者	平成27年7月30日《新潟ユニゾンプラザ》	100
テーマ別研修	接遇研修 (初任者コース)	職務経験2年未満の新任職員	[第1回] 平成27年6月19日《長岡市立劇場》	70
			[第2回] 平成27年6月25日《新潟ユニゾンプラザ》	70
			[第3回] 平成27年6月30日《新潟ユニゾンプラザ》	70
	接遇研修 (リーダーコース)	職務経験5年以上の指導的職員	[第1回] 平成27年6月11日《長岡市立劇場》	70
			[第2回] 平成27年7月9日《新潟ユニゾンプラザ》	70
			[第3回] 平成27年7月16日《新潟ユニゾンプラザ》	70
	職場研修担当職員研修 [前期コース]	職場研修担当者	平成27年8月6日・7日《新潟ユニゾンプラザ》	90
	職場研修担当職員研修 [後期コース]	職場研修担当者	平成27年9月3日・4日《新潟ユニゾンプラザ》	90
	事務職員研修	福祉関係事務職員	平成27年10月上旬《新潟ユニゾンプラザ》	70
	看護職員研修	福祉関係看護職員	平成27年11月中旬《新潟ユニゾンプラザ》	50
	アクティビティケア研修	福祉関係職員	[第1回] 平成27年6月4日《新潟ユニゾンプラザ》	100
			[第2回] 平成27年7月8日《長岡新産管理センター》	80
	気づく力研修	経験4年以上で主任・係長の職にない中堅職員	平成27年7月1日《新潟ユニゾンプラザ》	160
	コミュニティソーシャル ワーク実践者養成研修	福祉関係職員	[第1回] 平成27年8月4日・5日《新潟ユニゾンプラザ》	50
			[第2回] 平成27年8月6日・7日《佐渡市畑野農村環境改善センター》	50
	認知症ケア・対応研修	福祉関係職員	[第1回] 平成27年8月28日《新潟ユニゾンプラザ》	160
			[第2回] 平成27年9月14日《新潟ユニゾンプラザ》	160
コミュニケーションスキルアップ 研修(初任者コース)	職務経験2年未満の新任職員	平成27年9月1日《新潟ユニゾンプラザ》	120	
コミュニケーションスキルアップ 研修(リーダーコース)	職務経験10年以上の指導的職員	平成27年9月10日《新潟ユニゾンプラザ》	120	
メンタルヘルス研修〔一般職員コース〕	福祉関係一般職員	平成27年9月17日《新潟ユニゾンプラザ》	120	
メンタルヘルス研修〔管理者コース〕	福祉関係管理者等	平成27年9月18日《新潟ユニゾンプラザ》	80	
モチベーションアップ研修	福祉関係職員	平成27年11月11日《新潟ユニゾンプラザ》	160	
ターミナルケア研修	福祉関係職員	平成27年12月上旬《新潟ユニゾンプラザ》	100	
口腔ケア研修	福祉関係職員	平成27年12月中旬《新潟ユニゾンプラザ》	70	



あったか雪募金  
ご協力に感謝

十一月一日から三月三十一日まで実施した「あったか雪募金」には県内をはじめ、県外の新潟県出身者及び県人会の皆様のご協力により二百二十二万六千三



百四十八円の募金が寄せられました。心からお礼申し上げます。

新潟県冷凍食品協会から  
ご寄付いただきました

新潟県冷凍食品協会が、二十六年度に解散したことに伴い、当会に二十八万五千九百七十九円のご寄付をいただきました。

冷凍食品協会は長年福祉施設などへ食品を届けるなど社会貢献に尽力されており、ありがとうございました。

Dr.ヤマゴンの  
健やか  
通信

その八

初夏の快適な日が続いています。しかしもうしばらくすると梅雨の時期を迎え、そして、暑い夏がやってきます。今年は4月から気温の高い日が続き、熱中



症で救急搬送される人も出ています。熱中症は、夏の炎天下で作業をしたりしなければ大丈夫、と思っていませんか？ 確かにそれも当たっていますが、気を付けていた  
だきたい  
のは、室  
内で、曇りの日であっても

こんな時期でも熱中症にはご用心

温度が高いと、身体から出る汗や蒸発する水分の量が劇的に増えます。屋内でも、日陰でも、脱水になる可能性があり、それが原因となり熱中症にもな

ります。汗をかくのが嫌だから、とか、トイレが近くなると困るから、とおっしゃる方も、適度な水分補給は大事だということをぜひおぼえておいてください。

熱中症になるということです。熱中症の予防のため、気をつけていただくこととしては、何と言っても「脱水」にならないことです。

と申すことでは、冷房が効いている時でさえも、脱水には十分に気をつけなければなりません。とにかく、水分さえとっていただければ、なんとかなります。

蛇足ですが、汗をかけば、塩分が排泄されます。仕事が終わったら、脱水に気をつけながら、運動か何かで汗をいっばいかいて、シャワーを浴びて、そして美味しいビールを…このへんも適度に、加減しながら、気持ちよく行きたいものです。詳しくは新潟県のホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.niigata.lg.jp/kenko/1245614475250.html>

歴史編 Vol.5



昭和二十年代の募金配分

昭和二十二年度の全国の配分状況を見ると、団体や施設配分が目につきます。戦後すぐということもあって、戦争孤児や引揚者が多くなり、施設では児童保護施設、乳児保育所、生活保護施設、団体では同胞援護会、府県社会事業協会、民生委員連盟が、おおよそ半分を占めていました。

昭和二十三年度の新潟県内を見ると、同様に児童保護施設や保育所、母子寮を中心に配分されています。それ以外にも当時治療が難しかった結核などの長期入院者などにも配分していました。もちろん現在同様に養老施設、授産施設にも配分していました。

昭和二十三年度の新潟県内を見ると、同様に児童保護施設や保育所、母子寮を中心に配分されています。それ以外にも当時治療が難しかった結核などの長期入院者などにも配分していました。もちろん現在同様に養老施設、授産施設にも配分していました。

また、当時から募金活動の重要な役割を担っていた民生委員会へも配分していました。

当時の配分先のお礼の言葉の中に「戦争以来社会福祉情勢が深刻化するに伴い保育園も入園者が激増してきたのでその設備も新しくしなければならぬが、物価の高騰で経営も困難におちいり、遊具等も次々と壊れていくが補助金もなく今後何かの方法はないかと思案していた。今年度共同募金の配分を受けることができ、給食設備に遊具の修理補充ができます。心よりお礼を申し上げます。」という一文があります。当時の厳しい状況の中、共同募金が必要であったことが伺えます。



# 福祉の店 味わい散歩

かなやの里ワークス

社会福祉法人 上越福祉会

(上越市下馬場576の8)

◇ 8時15分～17時15分

◇ 営業日 月～金 (祝日は休み)

◇ TEL 025(521)0211



## 材料にとことんこだわる手作り味噌

上越市民がこよなく愛す

南葉山の麓に、豆の旨味たっぷりのこだわりの味噌がある。「南葉山麓かなや味噌」。就労継続支援B型の利用者8人が、職員と一から作り上げている。

素材へのこだわりは、徹底している。大豆と米は、地元産。塩は沖縄産のミネ

ラル豊富なものを使う。

1月下旬、今年も仕込みが始まった。まず糀を造る。湯気が立ちこめる部屋で、蒸した米の床もみに精を出す。「味噌の味を左右する」だけに、その後の温度管理

とても気が抜けぬ。煮て潰した大豆に糀と酒粕を混ぜ、味噌の種を造

頃。「赤」は発酵を均等に  
する切り返しのタイミング  
だ。

味噌造りは3日が1クル  
ル。週に750kgの釜を2  
つ処理、年間15トも造る。  
およそ白2対赤1の割合。

酵母は生きもの。出荷後  
も発酵が続く。空気を抜く  
ため、カップ容器には通気  
口を付けている。熟成が進  
み、(品質に変わりないが)  
赤みが増すこともある。

かなやの里のほか「ネス  
パス」、「あらい道の駅ひだ  
なん」、「あるるん畑」、上  
越市内のスーパーなどで買  
える。漬物や辛み調味料  
「おっ辛」も自慢。自前の  
野菜が味に生きている。



「白」は今ちょ  
うど旅立ちの

る。これを桶に  
詰め、熟成・発  
酵を促す。出荷  
まで赤味噌は1  
年、白味噌は約  
半年。冬仕込ん  
だ味噌の内、

## 福祉NEWS

2015年4月12日～5月11日

### ■新潟いのちの電話がネット相談開始

自殺の防止に向けて悩み事の相談に対応する「新潟いのちの電話」が4月19日から、インターネット相談の受付を始めた。スマートフォンやパソコンからメールで相談でき、メールを多用する若者に対応するとともに、聴覚や言語障害がある人らの利便性が高まると見込まれる。

ネット相談は匿名で、無料。既に東京や埼玉など10都県で実施しており、本県を含む各地の相談員が4～5日で相談者に返信する。新潟いのちの電話の及川紀久雄理事長は「若い人の電話相談が減り、電話では聴覚障害がある人や引きこもりの人たちに対応できなかった。新潟でも本格的に対応していく」と話した。

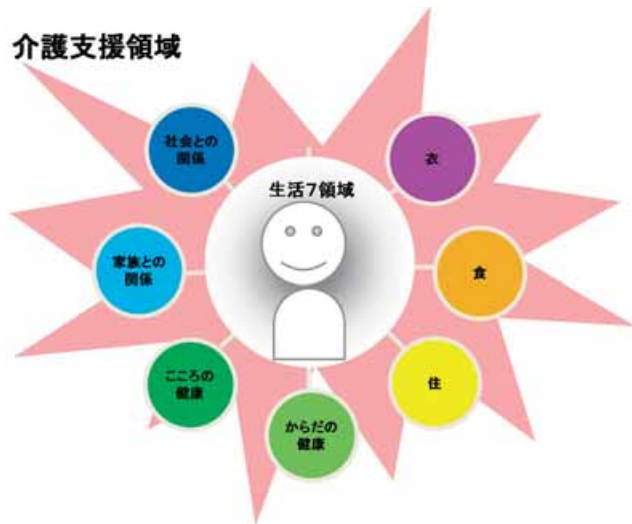
### ■介護保険料は月5,514円 10年後は8千円台へ

厚生労働省は4月28日、65歳以上が支払う介護保険料が4月分から全国平均5,514円になると発表した。5年後の2020年度には月6,771円、10年後の2025年度には月8,165円まで上昇するとの推計も明らかにした。65歳以上の保険料は市区町村や広域連合ごとに決められ、3年に1度見直される。保険料は介護保険制度が始まった2000年から2倍近くになった。保険料の最高は奈良県天川村の8,686円で、最低は鹿児島県三島村の2,800円。差は約6千円もあり、地域差が拡大している。

### ■子ども34年連続の減少で 1,617万人、先細り傾向続く

「こどもの日」を前に総務省が5月4日にまとめた人口推計(4月1日時点)によると、14歳以下の子どもの数は34年連続で減少し、1,617万人となった。総人口に占める子どもの割合も過去最低の12.7%で41年連続で低下した。総務省は「出生数の減少に伴い、先細り傾向が続いている」としている。新潟県は4月1日現在で27万8,841人と昨年に比べて5,374人減少した。県人口に占める割合は12.2%で、0.1ポイント低下した。総務省による昨年10月1日のまとめでは、新潟県の子どもの割合は12.2%で47都道府県の平均を0.6ポイント下回り、全国で8番目に低かった。

## 介護支援領域



日本介護福祉士会、災害時介護支援ボランティアマニュアルより

平成12年に施行された介護保険制度は、これまでの介護サービスについてのイメージを大きく変えまし

た。制度開始以前は、介護サービスは、利用するには行政の決定が必要であったこと、サービスの種類や数量が限られていたことから、与えられるものというようないメージでした。介護保険制度が始まってからは、さまざまな提供主体の参加が可能となったこと、種類や量も増えてきたこと、利用者自らが選択して

事業者との契約によって利用することができるようになったこと等から、権利として利用するというように見方が変わってきました。介護そのものに対する社会の考え方も変化してきました。これまでは「できないところをやってあげる」とや補うこと」が介護の目的とされてきましたが、介護保険法ではその目的に、たとえ介護が必要な状況となっても「尊厳を保持し、能力に応じた自立した日常生活を営むことができる」ことを目的として掲げられています。これからの超高齢社会における介護を考えたとき、この目的は、介護

する人・される人だけではなく、広く人々の意識として定着させる必要があります。さて、新潟県は海や山などの自然に恵まれた広い県土を有し、地域ごとに行われる祭りなどの活動は大変魅力的です。地域で何かを盛り上げるといふ気風は、他県には負けません。地域において、草の根的に展開されているサロン活動に、新潟県らしさを感じる事ができます。サロン活動に関係している人から聞いた話ですが、「サロンに来てお茶を飲むだけでいいのかしら」という参加者の声があったそうです。お茶を飲んで交流することも楽しいけれど、もっと人に心を配ることがあっても良いのではという参加者からの

## できることから始める。それが地域の介護

これからの

## 介護福祉を考える

社会福祉学科 教授 岡田 史

新潟医療福祉大学



(おかだ・ふみ)

- 公益社団法人新潟県介護福祉士会顧問
- 日本介護福祉士会理事
- 日本レクリエーション協会理事
- ※研究分野  
介護福祉 災害介護

する人・される人だけではなく、広く人々の意識として定着させる必要があります。さて、新潟県は海や山などの自然に恵まれた広い県土を有し、地域ごとに行われる祭りなどの活動は大変魅力的です。地域で何かを盛り上げるといふ気風は、他県には負けません。地域において、草の根的に展開されているサロン活動に、新潟県らしさを感じる事ができます。サロン活動に関係している人から聞いた話ですが、「サロンに来てお茶を飲むだけでいいのかしら」という参加者の声があったそうです。お茶を飲んで交流することも楽しいけれど、もっと人に心を配ることがあっても良いのではという参加者からの

意見で、サロンに来ることができない人を訪ねてみようということになったということでした。このようなお話をしてくださった人は、このような気づきが助け合いの輪を広げるのではないかと話していました。人が困っているときには、見て見ぬふりをする事ができない新潟県人気質を表していると思います。

この話を聞いて、これが、「尊厳を保持し、能力に応じた自立した日常生活」の具体的な姿ではないかと思いました。自分たちができるところから始めるのが地域の介護です。今介護は、費用や人材の面から問題点ばかりがとりあげられているような気がします。新潟県の介護を、このような豊かなエピソードを重ねて発信して行こうではありませんか。

※ ※

7月号は、「これからの地域医療と福祉を考える」のテーマで、医療情報管理学科の石上和男教授が担当します。

# 就活のキーポイントややりがい実感

## 初の「福祉業界就活さぽーとセミナー」開催

平成28年春卒業予定者の広報活動が解禁となり、大学生等の就職活動が本格的に始まっています。しかし、これまで4月だった採用選考活動の解禁が8月1日に繰り下がるなど、今年度からスケジュールが大きく様変わりしました。

このような情勢の中、4月25日、新潟ユニゾンプラザを会場に、初の「福祉業界就活さぽーとセミナー」が開かれました。就職活動に必要な情報を学生たちに



提供するとともに、福祉業界や仕事の魅力、将来性等を発信することで、県内の福祉職場への就職を促進することを目的に開いたものです。当日は県内外から40人を超える学生が参加、先輩などの話に耳を傾けました。

セミナーは、3部構成で行われました。まず株式会社社リクルートキャリアのマネージャー大柴力さんが「就職活動の進め方」と題して「就職活動の心構え」「求人側の着眼点」や「職場説明会の効果的な活用方法」についてレクチャーしました。

その中で、大柴さんは、「自己PRを伝える準備」について演習も交えて分かりやすく話し、「自分の持ち味を仕事でどのように活かせるのか」という「接点」探し、自己PRの準備には重要であることを強調し

ました。

第2部は「今振り返る私の就職活動」と題し、就職して1、2年目の先輩職員が、就職活動にまつわる体験を語りました。

体験を語った先輩は、高齢分野の「にいつ福祉会」今井実穂さん、障害分野は「新潟市中央福祉会」堀井夢摘さん、児童分野は「新潟カリティラス会」池田拳斗さんの3人。「どのようにして就職活動を乗り切ったか」「就職活動の準備や対策」などを「失敗談」を交えて語り、併せて現在の仕事のやりがい、福祉職についてたきかけについても発表しました。

そして、第3部は、先輩たちへの質疑応答。第2部では聞けなかったことや、受講生が抱えている疑問について丁寧な回答していました。

今回初めて試みたセミ

ナーは、学生たちに好評でした。終了後のアンケートに「自己PRの書き方が参考になった」「就職活動の進め方や準備について学ぶことができた」「分野ごとの先輩の経験が聞けたことで、視野が広がった」「失敗談や学生時代の取り組みが参考になった」「現場の生の声を聞いたことで深く知ることができ、新たな発見があった」などの感想が寄せられ、就活の進め方、福祉職のやりがいを改めて実感していました。

就職活動では、多くの情報を入手し、先を見据えた行動をとることが必要です。福祉人材センターは、さまざまな事業を行い、多くの情報を提供しています。就職活動への助言、福祉の仕事や資格取得の相談、無料職業紹介事業、福祉施設見学や職場体験など福祉職場への就労に関する支援などを通して、福祉人材の確保を進めており、福祉職に関心のある方や就職を希望する方など利用を呼び掛けています。

改造もします。

人にやさしい車  
福祉車両のこまつが新潟より全国へお届けします。

## 福祉車両専門店

**買いたい!**

福祉車両の  
新車・中古車販売!  
常時展示中!

**売りたい!**

福祉車両の買取  
ご相談ください。

**直したい!**

自社整備工場完備!  
福祉車両の代車無料。

福祉車両のこまつ  
株式会社 オートモティブコマツ  
新潟県三条市小古瀬31  
http://294komatsu.com  
TEL 0256 (45) 3000

# 福祉の現場

樫野 知英子さん

(上越市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業生活支援員)

## No.3



判断能力が十分ではない方が、安心して暮らせるようお手伝いする日常生活自立支援事業。生活支援員として利用者と関わるようになって、5年目になる。

樫野さんの担当は11人。一人で、時には同行して銀行に行き、預金を払い戻し、様々な支払をし、郵便物を確認し、生活が滞らないよう支えている。

十人十色という。利用者の性格はさまざま。欲しい物があると、気持ちを抑えられず買ってしまう人がいる。出しそびれていた請求書を出して「生活費使ってしまった。また下ろして」と頼む人もいる。事前に立てた計画通りには、なかなか

### 真摯な話しぶりと満面の笑顔。つい心が和む、自称「人見知り」。

かかない。

しかし樫野さんは、この仕事が好きなのだ。「一対一の関わりなので、本当に寄り添う感じのできるのです。それが楽しいことでもあり、また大変なことでもありますけれど」。

福祉との関わりは「50歳を過ぎてから」。ホームヘルパーの講習会を目にして、何気なく受けたところ「やってみないか」と誘われて踏み込んだ。

ヘルパーの時、金銭的な問題で困っている人の姿を見ている。「でも、ヘルパーは、金銭に関われない」。そのとき感じたもどかしさが、支援員への道を歩ませたのかもしれない。

「同じ目線で、なるべく自然体に」を心掛けています。「ただ側に寄り添う人」と思われるのが理想。「むくみはないか？ やせていないか？ 動きは？ 話し方は？ 部屋の様子に変わりはあるか？ 予定外の出費はないだろうか」。利用者宅を訪れた時、前回との違いに細やかな目を配る。ごく自然に—。

## 新潟ユニゾンプラザ ライブラリー NEWS



### 「認知症高齢者の行方不明ゼロに向けて」(DVD)

#### 全国自治体の

#### 「認知症高齢者の見守り・SOSネットワーク」の 取り組みを紹介

◆制作 NPOシルバー総合研究所  
◆発行 株式会社シルバーチャンネル  
◆時間 25分

#### 【内容】

認知症高齢者の「行方不明ゼロ」を目指して！  
全国の自治体では、認知症施策の一つとして「認知症高齢者の見守り・SOSネットワーク」の構築が進められています。このビデオでは、認知症高齢者の「行方不明ゼロ」を目指して、先進自治体での取り組みを取材し紹介しています。

問い合わせ

新潟県社会福祉協議会 新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム ☎025-281-5514

この機関誌は、  
赤い羽根共同募金の  
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5520  
発行人／土屋 良治  
定 価／5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた  
平成27年6月1日発行 (毎月1日発行)  
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可  
印刷／島津印刷㈱